



流川のカツパくん

第6話 作:ミルルベっぼ 「伊能忠敬がやってきた」

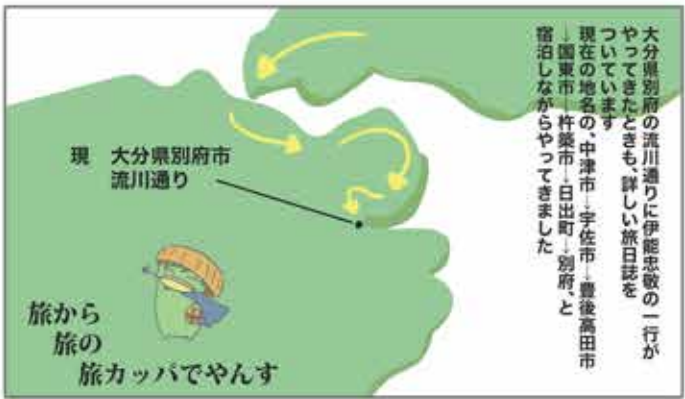


伊能忠敬がやってきた!

文化7年2月11日(西暦1810年2月15日)
日本地図を作る為、ここ大分県別府にも



江戸時代の
大分県別府市
国東半島から別府湾へ向かう街道



大分県別府の流川通りに伊能忠敬の一行が
やってきたときも、詳しい旅日記を
つけています。
現在の地名の、中津市・宇佐市・豊後高田市
・国東市・杵築市・臼杵町・別府、と
宿泊しながらやってきました



江戸を拠点に、北回り南回りと
何度も旅をしています
大分県には2回来ていますが、
最初は第7次測量で来ています

伊能忠敬は江戸時代の後期
日本地図を作ることを幕府に命じられ、
実際に日本中を歩いて測量して測った人です



宿泊した庄屋さんの場所は、白名子旅館という
旅館になりました
現在は白名子マンションというマンションが
建っています
その前には現在、その足跡を記した
「伊能忠敬測量の地」の石碑が建っています

現在は、すっかり景色が変わってしまいましたが、
200年経った昔の昔に、ここで当時ながあつたのか、
日付も人の名前もお店もはつきり記録されているのは
凄いことです
このあと伊能忠敬さんは世界に誇る精密な地図を
完成させました
別府流川通りがそんな偉業の宿泊のお手伝いが
出来て誇りに思います



別府での宿泊の記録の抜粋です
「本陣(宿泊場所)は別府村庄屋作左衛門(種氏) 宅であった
脇宿(お供の人達の宿泊場所)は煙草屋市郎兵衛 (完全氏)宅であった
当夜は薄曇りであったが星羅の観測をした」と
あります
このあと帰りの文化8年1月4日に再び
別府に宿泊しています

別府には文化7年2月11日(西暦1810年 3月15日)に来て測量を行い、 宿泊していただきました。



そして別府流川通り界隈には伊能忠敬さんとは
別に地図にまつわるセレンギンさんがあります
地図で有名なあのセレンギンさんはこの別府の地
から創業しています
この伊能忠敬さんが宿泊して測量した場所から
すぐ近くです
またその建物も残っています(2024年1月
現在残存ですが、相当古い建物なので、
早くご覧になることをお勧めします)
セレンギンさんの地図を持って是非ご散策下さい

注 別府の地図は山側が上です(笑)